

日本のエースタブリッシュメント 高校人脈からの系譜

横田由美子
&本紙取材班

=125=

ツズ社長で、サッカー協会会長を務めた犬飼基昭もOBのひとりだ。

「浦和といえば、浦和レッズですよ」

浦和高校のOBのみならず、さいたま市民の太半が

そう】にする。

「戦後20年あまりの間、冬の高校サッカー選手権で

『浦和』と冠のつく高校が10回は優勝しています。浦

高もそうですが、浦和市立や浦和南、浦和西とか、まさにサッカーの聖地だったんです」

浦和高校

⑤

スポーツ界に入った卒業生は、サッカーが圧倒的だ。高校選手権、国体、関東大会の3冠に貢献した浅見俊雄は、東大に進学。日本サッカー協会顧問、元国

立スポーツ科学センター長などを歴任した。元浦和レッズ選手として注目されていたのが、大坂府立天王寺高のサッカー部員だった岡田武史。「岡ちゃん」と親しまれたアントンナ五輪日本代表監督だ。

運命的な出会いもあつた。関西遠征でかち合つた堀尾がサッカー漬けの日々を送っていた頃、スター選手として注目されていたのが浦和西高の西野朗だつた。アントンナ五輪日本代表監督だ。

「長髪にバンダナ姿でひよろひよろしていた。南こうせつさんみたいな雰囲気で。それが、グラウンドでは華麗にシユートを決められた。0-3で負け、そのうち2点を決めたのが岡田。驚いたなあ」

天王寺高時代の「岡ちゃん」に惨敗

「浦和はサッカーの聖地」と堀尾キャスター

で、キヤスターとして活躍する堀尾正明は胸を張る。堀尾自身、サッカー部出身で、ポジションはFWだった。

元NHKアナウンサーで、堀尾、西野、岡田の縁はそれだけでは終わらず、早

大で再会する。すでに堀尾は芝居の道を歩んで



リーグ発足に尽力した武正岡田はサッカーワールドで名を馳せていく。

80年代に入

り、アマチュア主體だった日本

のサッカーはブ

ロ化に向かつて進んでい

く。93年にJリーグが誕生

するまでの過程に、さまざま

多くの尽力があつたこと

は言うまでもない。

堀尾の後輩にあたる衆議院議員の武正公一(民主

党)も設立準備に携わっ

た。

「浦和にプロサッカーチー

ムが出来たら面白いで、当

時の川淵三郎Jリーグ初代

チエアマンを訪ねました

川淵はいまだに「プロサ

ッカーをつくりたいと一番

初めてに言つた政治家は武正

だ」と言つてくれるとい

(敬称略)